

戸河内あすなろ園における新型コロナウイルス感染症集団感染の終息について

令和6年2月2日

今年1月16日の朝、体調不良を訴える利用者が複数おられたため、新型コロナウイルスの抗原検査を実施したところ4人(男性3・女性1)の陽性が判明、直ちに居室隔離の措置を行うとともに、残る利用者全員について抗原検査を実施し、この段階では陰性を確認していました。

しかし、翌日1月17日には職員1人からも陽性を確認、以後は毎日のように利用者及び職員双方から新たな陽性者が発生し、1月19日には合わせて10人を超えたため、集団感染いわゆるクラスターとして県保健所に届出を行い、終息までの期間は日中活動を中止するとともに、食事・介護サービスなどを陽性者と陰性者に分けて提供するなど、感染が拡大する中限られた人材・資源の中で懸命にサービス継続に努めてまいりました。

その結果、1月28日以降は5日連続で新たな陽性者が発生していないことから、県保健所からも集団感染(クラスター)については2月1日をもって終息したものと判断するとの連絡を受けました。このため、当園としても今回の施設内での集団感染は終息したものと判断しましたのでお知らせします。

幸い利用者、職員とも陽性者全員軽症で推移し、短期間で通常生活に戻ることができました。この間利用者、ご家族の皆様をはじめ関係者の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけしましたことを改めてお詫びいたします。

最終的には、利用者については約6割に当たる24人が、職員については約3割に当たる11人が感染しました。

引き続き職員一同更なる感染予防策の徹底を図り、ご利用者が安心してサービスを受けることができる環境づくりに取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

社会福祉法人 親心会

戸河内あすなろ園施設長